

平成25年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国連環境計画(UNEP)国際環境技術センター 拠出金(任意拠出金)	担当部局庁	国際協力局	作成責任者								
事業開始・ 終了(予定) 年度	平成3年度	担当課室	地球環境課	課長 杉中 淳								
会計区分	一般会計	政策・施策名	基本目標Ⅶ 分担金・拠出金 具体的施策Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3	関係する計画、 通知等	第16回UNEP管理理事会決定(16/34)及び設置取極									
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	国際環境技術センター(IETC)のホスト国として求められている応分の支援を行うことにより、IETC及びUNEPと緊密な協力関係を構築するとともに、IETCが我が国に位置する有利性を最大限活用し、その活動を通じて環境問題に関する我が国の経験と技術を効果的に途上国等と共有し、3Rイニシアティブ等、我が国が積極的に推進している環境分野の活動を具体的に実施する。											
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	IETCは、主に廃棄物管理の分野を中心に、途上国等に対して環境上適正な技術を移転するための事業を実施している。また、廃棄物管理に関するグローバル・パートナーシップの事務局として、廃棄物処理に関与する関係機関間のネットワークの構築を行っている。なお、IETCに関する日本国政府とUNEPの間の協定では、IETCの運営経費についてホスト国である我が国が応分の支援を行う旨明記されている。											
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他											
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	122	92	77	78	78					
		補正予算	-	-	-							
		繰越し等	-	-	-							
		計	122	92	77	78	78					
	執行額		122	92	77							
	執行率(%)		100%	100%	100%							
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)				
	廃棄物管理等について、途上国への環境上適正な技術の移転や途上国の能力構築を促進するためのワークショップのうち規模が最大だったものへの参加者数。			成果実績	人	63	71	184				
				達成度	%							
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込				
	廃棄物管理等について、途上国に環境上適正な技術を移転するためのワークショップ等が開催された。			活動実績 (当初見込み)	実施したプロジェクトの件数	10	17	14	—			
単位当たり コスト	123,498ドル			算出根拠	予算総額 ÷ 活動件数							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由								
	国連環境計画(UNEP)国際環境技術センター拠出金	78	78	国連環境計画(UNEP)国際環境技術センター拠出金に関しては、「新しい日本のための優先課題推進枠」78(百万)								
	計	78	78									

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費 必要投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	廃棄物の増加や多様化に伴い廃棄物の処理は益々重要となっている。我が国が有する廃棄物処理に関する技術を活用するとともに、各主体の活動の重複を排除し、効率を高めるために、UNEP／IETCの有する知見及びネットワークを活用することは有意義。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		－	UNEP／IETCが深い専門性を有する廃棄物処理分野の取組の中でも、特に優先度の高い事業を実施している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		－			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		－			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		－			
事業の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	ワークショップの開催等にあたっては、UNEP／IETC事務所や過去の成果物を最大限活用し、効果的な事業の実施に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		○	IETCの運営経費について、ホスト国として応分の支援を行うことが求められているところ、コア予算について外務省と環境省で折半する形をとっている。		
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
点検 結果	国際連合環境計画（UNEP）拠出金等		環境省地球環境局国際連携課			
	特段の問題はないが、引き続き効果的な事業の実施を求めている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	引き続き、予算の効率化や経費の節減の余地が無いか確認していく。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	107	平成23年	110	平成24年	139